音楽

合唱練習を通して、主体的に工夫する生徒を育成する

新潟市立味方中学校
東　晃希（206）

本実践では、合唱練習を通して音楽表現を主体的に工夫する生徒の育成を目指した。生徒が主体的に表現を工夫できない原因として、次の 3 点を推測した。

① 知識が不足していることで、どんな工夫をするべきかわからないから。

② 楽譜を読み解き、工夫を凝らす方法を知らないから。

③ 自分の意見や言語化した結果に自信を持てないから。

①については知識を身につけることで解決するが、②については楽譜を読み解く方法を知り、実践することが必要である。また③については、言語化が得意な生徒の意見を苦手な生徒が参考にすることで、自分の考えを深められると考えた。

そこで私は、ICT を活用し、表現の工夫を全員で考えやすいフォーマットを作るとともに、互いの意見をいつでも参考にできる環境を整えることを目指し、実践に取り組んだ。。